

J-SLA ニュース・レター 2014 年 10 月号

木々の葉も少しずつ色づき始め、秋の深まりを知らせております。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今月のニュース・レターでは、報告とお知らせがそれぞれ 2 点ございます。

報告(1)：『秋の研修会』終了

今年度の『秋の研修会』は、10 月 19 日（日）に 3 名の講師をお招きし、関西学院大学梅田キャンパスにて開催されました。講演していただいたのは、以下の方々です。

松尾歩氏（神戸女学院大学）	「Intermodal Preferential Looking」
楠本紀代美氏（関西学院大学）	「Type Theory and Quantification」
岸本秀樹氏（神戸大学）	「統語構造の日英比較」

松尾氏は幼児を対象とした実験方法を紹介し、子どもがどのように母語を習得するのかを統語論的立ち上げ法からお話しいただきました。楠本氏は意味解釈にもパラメーターがあると主張され、日本語、英語、フランス語の名詞解釈、定冠詞、数量詞を例に説明されました。最後に、岸本氏は日本語と英語の否定表現に見られる違いを否定辞の作用域の違いからお話しされました。いずれの講演も非常に興味深いものでした。

報告(2)：2014 年度第 2 回総会

今年度より『秋の研修会』においても総会が開かれることになりました。まず、既に決定している 2015 年度の行事について事務局の柴田より下記（1）から（3）の報告がありました。

(1) 2015 年度年次大会

日時：2015 年 6 月 6 日(土)・7 日(日)

会場：広島大学

招待講演：Dr. Holger Hopp (University of Mannheim, Germany)

(2) サマーセミナー

日程：2015 年 8 月 17、18、19 日（月～水）

場所：八王子セミナーハウス

(3) 秋の研修会

日程：2015 年 10 月 25 日（日）

会場：名城サテライトキャンパス

次に議題として次期会長である若林茂則より下記（１）から（３）について説明があり、承認されました。

（１）2015 年度新運営委員

（２）PacSLRF の HP にかかる支払について：HP 作成の支払いに当たり、その費用の半分を今年度の予備費から出す。

（３）PacSLRF の予算について

上述の３点に加え、若林より PacSLRF の現在の準備段階とこれからの方針について説明がありました。

お知らせ（１）：2015 年度 J-SLA 年次大会発表募集

来年度の大会を以下の通り開催予定です。

場所：広島大学 (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>)

日時：2015 年 6 月 6 日(土)・7 日(日)

招待講演者: Dr. Holger Hopp (University of Mannheim, Germany)

つきましては、口頭発表、ポスター発表、およびワークショップでの発表を募集いたします。ふるってご応募ください。募集要領の詳細につきましては学会 HP (<http://www.j-sla.org/j-sla2015-call-for-papers/>)をご覧ください。

お知らせ（２）：2016 年度 PacSLRF を中央大学で開催

PacSLRF とは Pacific Second Language Research Forum の略で、第二言語習得研究の最たる国際学会のひとつです。その学会を J-SLA が主催し、9 月 9 日から 11 日の日程で中央大学にて開催する予定です。

文責：J-SLA 事務局 柴田美紀 (shibatam@hiroshima-u.ac.jp)